

おひさま サカナ

2022



vol.238

11



はいっポーズ!

《温根湯地区・昭栄》

児玉凛さんと詩くん・礼くん

(紹介は2ページです)

特集

新デザインで認知度UP!

～JA加工品パッケージリニューアル～



長いもの収穫 本格化

冬の足音がだんだんと近づいてきた10月下旬、きたみらい管内では長いもの収穫作業が本格化しています。

上常呂地区広郷の酒井秀徳さんの圃場では10月29日から収穫が始まりました。今年、25㍓作付けしている酒井さんは「今年も長いもまつりが中止となり残念だが、味、太さ、形も良く、出来は良好。スーパーにも並んでいるので、見かけたら是非手に取ってご賞味ください」と話しました。

当JAでは10戸が約2.4㍓作付けし、約30㍓の出荷を見込んでおり、収穫作業は11月中旬まで続く予定です。

季節の薫り



▲収穫した長いもを手にする酒井さん

長いもまつり 中止のお知らせ

今年の長いもまつりもコロナウイルス感染予防の観点から、残念ながら中止とさせていただきます。何卒ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

もくじ CONTENTS

特集	新デザインで認知度UP！ JA加工品パッケージ リニューアル	4
○季節の薫り		2
○表紙紹介	「生き物にも優しく接することができる 児玉家の子どもたち」	2
○JAトピックス		6
○ほのぼのの広場	・なかよし夫婦 ・きたみらい技能実習生	8
○みらいプロジェクトチャンネル		9
○JAからのお知らせ		10
○おひさまサラダクッキング		18
「いろいろキノコの炊き込み飯」 「秋の冷やし鉢」		

表紙紹介

生き物にも優しく接することができる児玉家の子どもたち

10月22日に児玉家を訪ねると、未っ子の礼くんが私の荷物を持ってくれるというサービスマンのお出迎えしてくれました。

長女の凛さんは小学6年生。昆虫を見るのが好きで、現在はソウムシの幼虫とクワガタを飼育しています。将来は昆虫館や博物館の職員を目指しているそうで、色々な昆虫の性質や餌について勉強中！お母さんの香織さんは「弟たちをまとめたり、一緒に遊ぶんでくれている」と教えてくれて、頼れるお姉ちゃんです。

長男の詩くんは小学1年生。取材中に質問をする「詩はねえ」とお母さんにくつつきながら答えてくれたのがとても可愛く印象的でした。小学校のマラソン大会で1位になった詩くんはやる気はやる頑張り屋さんです。以前は「お米とぎ」のお手伝いをしていた「まだお米とぎしたくなっちゃった！」と即戦力で、将来はコーチェッカーになってヒカキンとコラボするのが夢とのことでした！

次男の礼くんは海の生き物が大好きな年中さんです。未っ子で甘えん坊な一面もありますが、大人向けの内容が難しいテレビを観て生き物の種類や難しい名前、性質を覚えるくらい勉強熱心な礼くん。お母さんが幼稚園へ迎えに行くとき、遊具で遊ぶことよりも木を見て虫を探したりして遊んでいることが多いようです。

児玉家の子どもたちは3人仲良し！児玉などの生き物にも優しく接することができる素晴らしい子と私たちへお父さんとお母さんへ「健康で元気に自分らしく育ってほしい」とメッセージを送りました。



【ご家族紹介】
前列左から～長男の詩くん(7)、次男の礼くん(5)
後列左から～お母さんの香織さん(38)、長女の凛さん(12)、お父さんの渉さん(46)
作付内容：玉ねぎ、秋小麦、白花生、てん菜等を約19㍓作付けしています。

新デザインで認知度UP!

〜JA加工品パッケージリニューアル〜

この度、当JAで取り扱う加工商品のパッケージをリニューアルしましたので紹介します。

きたみらいでは農産物加工商品を販売することで、①全国的な認知度向上、②付加価値化、③JAのサポーター作りを目的に10年以上前から加工商品を取り扱っており、令和3年には加工商品等の販売額が1億円を超えるなど順調に実績を伸ばしています。デザインが新しくなった加工商品をぜひ手に取ってみてください。

リニューアルの背景

加工品はこれまで製造会社ごとに異なるデザインでしたが、リニューアルにより統一感や存在感、魅力を詰め込んだロゴマーク、デザインにすることで、より消費者に選ばれる商品を目指しました。



▲現行のデザイン

統一ロゴマーク・新デザインの紹介

加工商品は、北海道生まれの農畜産物の美味しさを最大限に知っているJAだからこそ、「匠の技術」から生まれたJAブランドであると伝えるロゴマークに、また青果農産物は、雄大な大地で育った「恵」であることを伝えるロゴマークにしました。

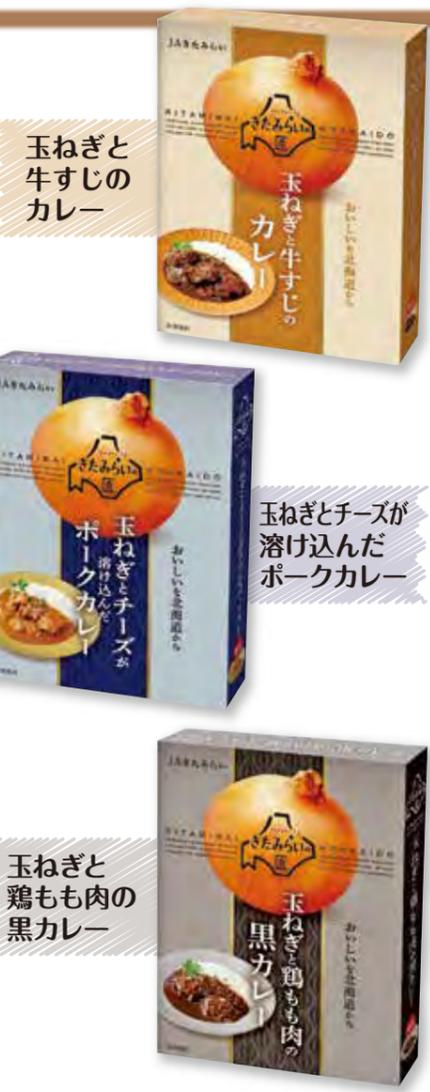


8JAが合併したきたみらいを八の字で表現

これからも北海道で光り輝くJAとして☆マークを位置情報で表示

▲加工商品用ロゴマーク(上)と青果物小箱・小袋用ロゴマーク(下)

※現行の包材が無くなり次第、順次新しいパッケージに切り替えていきます。今後は調味料など、他の商品もデザインを統一して展開していく予定となっています。



小箱段ボール(3kg・5kg)も新たにデザインをリニューアルしました。当面は、通信販売、ネットショップ販売への展開を予定しています。

玉ねぎ



馬鈴しょ



▲新しい小箱段ボール



▲JAキャラクターランドのページ画面

JAきたみらいホームページ オンラインショップ
(URL: <https://www.jakitamirai.or.jp/onlineshop/>)

日本農業新聞ホームページ JAキャラクターランド
(URL: https://pr.agrinews.co.jp/ja_charaland/?latest)

取り扱い店舗・購入先

これまでと同様、左記店舗などでお買い求め頂けます。
 ◆当JA管内のエコープ各店舗 ◆コミュニティプラザパラ
 ◆イオン北見店 ◆イトーヨーカドー北見店
 ◆東武イーストモール端野店 ◆セブンイレブン北見とん田東町店
 また、きたみらいのホームページからもご購入頂けます。

←あわせて確認

日本農業新聞公式Webサイトでは、全国産を推進するため、全国各地のJAのキャラクターやロゴマークを掲載し、産地の情報や各JAの取り組みを発信する特設ページが創設されました。きたみらいの新ロゴマークも掲載されていますので、ぜひご覧ください。



J A トピックス

2月 12日

大豆の収穫作業最盛を迎える

J Aきたみらいでは10月中旬、各地区で大豆の収穫作業が始まり、大型コンバインなどで次々と大豆が収穫されています。

端野地区で大豆を約4畝作付けし、きたみらい豆類振興会副会長を務める岡野拓弥さんは収穫作業にあたって「今年は降水量が多く、



▲大型コンバインで大豆を収穫する様子

例年より2週間遅れの収穫開始となったが、品質も良好で平年以上の収量を見込めそうだ」と話してくれました。

収穫された大豆は、当JA受入調製施設に運ばれた後、オホーツク管内大空町のオホーツクヒーンズファクトリーで調製し全国へ出荷される予定です。

当JAの今年の作付面積は約870畝で生産量は2,170トンを見込んでおり、収穫作業は11月上旬まで行われる予定です。



▲収穫した大豆をコンテナに移す様子

9月 10日

スマート農業機械展示会

最新の農業機械が勢揃い

きたみらいスマート農業推進協議会は10月25日から26日の2日間、当JA訓子府整備工場でスマート農業機械展示会を開催しました。

同展示会は、スマート農業に関する知識の幅を広げる機会を提供することなどを目的として開催され、きたみらい管内外から約210人が来場しました。

GPSガイダンス・自動操舵やロボットトラクター、農薬散布用ドローン、可変施肥対応プロードキャスターなど15社の幅広い農業



▲▼展示会の様子

機械を展示し物販ブースも設けました。2時間近くかけて各ブースを回り説明を受けている来場者もあり、「想像していたよりも多くの農業機械が展示されていて、とても興味深かった」と話しました。

同協議会の荒喜文会長は「現状のスマート農業情勢を生産者に知ってもらう機会を提供できてよかった。今後もスマート農業普及に向けたイベントを企画していきたい」と意気込みを語りました。



てん菜収穫スタート

2月 12日

温根湯・留辺蘂でテラドス稼働

きたみらい管内では10月上旬、てん菜の収穫作業が始まりました。収穫期に雨が多かったものの、平年並みの収穫開始となりました。

温根湯・留辺蘂地区では今年から大型収穫機「テラドス」が導入され、次々とてん菜が収穫されています。温根湯地区でてん菜を約5・7畝作付けし、きたみらいてん菜振興会の理事を務める森谷和



▲収穫の様子

幸さんは「今年は春の低温や強風で欠株が出るなど被害があったが、その後は順調に生育してよかった。砂糖の消費が落ち込んでいるので、甘いものをたくさん食べてもらえれば」と話してくれました。

当JAでは今年度495戸がてん菜を作付けし、作付面積は約3,300畝、生産量は平年並みの約20万トンを見込んでいます。収穫作業は11月上旬まで続く予定で、収穫されたてん菜は順次、北海道糖業の製糖工場へ搬入されています。



▲圃場脇に積み上げられたてん菜

野菜を配り交通安全呼び掛ける

11月 10日

J Aきたみらい女性部置戸支部

J Aきたみらい女性部置戸支部は11月1日、置戸町で交通安全街頭啓発を行いました。

当日は寒い中、部員8人が参加。勝山駐在所の警察官に交通整理を協力してもらい、エコーカー前の交差点で信号待ちの車や買い物客などに、部員が生産したかぼちゃ・玉ねぎ・馬鈴しょ・ヤーコンを詰め合わせた袋を手渡しました。道路の両側で交通安全の旗を振りながら、通る車一台一台に呼び



▲安全運転を呼び掛ける部員

掛けし、11時頃から10分ほどで用意した50袋をすべて配布することができました。

支部長の大和谷由理さんは「自宅で大切に育てた農産物を提供していただき部員の皆さんに感謝している。交通事故が減るよう今後とも安全運転を心掛けていただきたい」と話し、参加した部員らは事故に遭わないようにしようと再認識していました。



▲参加した部員の皆さん

みらいプロジェクトチャンネル

「農に対する国民の意識」アンケート結果について③ **vol.19**

北海道大学大学院農学研究院 小林 国之

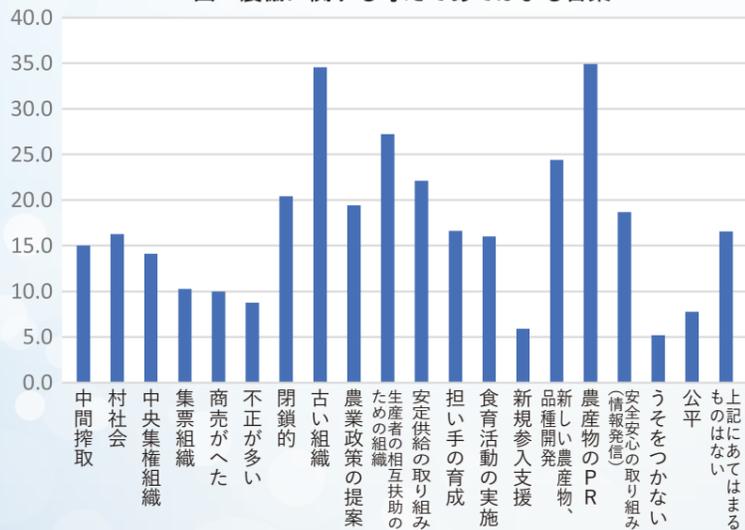
今回は農協の各種事業について、一般の人たちの目からどのように映っているのかということを考えてみました。そこからは、農協のいわゆる農業関連事業と呼ばれる販売事業や農業振興の事業などは比較的高く評価されていること、一方で、「生活事業」については思ったよりも評価が低い、という結果となりました。今回は、農協について別の角度から一般の人たちの「眼差し」について考えてみたいと思います。図は農協に関するキーワードを一般の人たちがどのように認識しているのかを示しています。回答割合の高いものをみると、否定的な見解である「古い組織」と肯定的な見解である「農産物のPR」がともに35%前後となっています。特に当てはまるものはないという方が15%程度しかいない、ということは良くも悪くも農協という組織の認知度の高さを示していると言えます。

これらのキーワードは統計的手法（主成分分析ともいう）を用いることでまとめることができます。その結果、三つの項目に分けることができました。詳しいことは省略しますが、これは一般の人たちが農協について持っている見解は、主に三つの要素で説明することができる、ということを示しています。その三つは、「安全な農産物供給の生産者の集まり」、「古い閉鎖的組織」、「公平・公正な組織」というものです。このように、キーワードを設定した際の想定通り、三つの要素を見つけることができました。

次に知りたいのは、どのような人がどのような要素を持っているのか、という点です。大枠の結論的にいえば、統計的に一定の傾向を見出すことはなかなか難しい、というものでした。ですが、「こんなことが言えるかもしれない」ということはみえてきました。年齢と性別階層ごとに、この「眼差し」の得点の平均を出してみると、次のようなことが言えるかもしれません。「古い閉鎖的組織」という要素は60歳以上の男性に比較的強くみられますが、それ以外の人たちには傾向は見られませんでした。「安全な農産物供給の生産者の集まり」という要素は、70歳以上の女性に多く見られそうです。また、「公平・公正な組織」というのは、全体的にその得点は低いですが、若い世代の男性において比較的高くなっているようです。

こうした傾向を踏まえると、農協の情報発信について、どのターゲットにどのような内容を伝えていけば良いのか、ということを考えることができます。評価の低いところを伸ばす、または、高いところを更に伸ばすなど、いろいろな考え方があると思います。

図：農協に関する考えであてはまる言葉



表：農協に対する考え方と年齢・性別の関係

	安全な農産物供給の生産者の集まり	古い閉鎖的組織	公平・公正な組織
女性/15-29歳	0.09	-0.43	0.01
女性/30-39歳	-0.06	-0.28	-0.05
女性/40-49歳	-0.01	-0.21	-0.14
女性/50-59歳	0.08	-0.22	-0.17
女性/60-69歳	0.22	0.08	-0.18
女性/70歳以上	0.35	-0.06	-0.27
男性/15-29歳	-0.03	-0.22	0.27
男性/30-39歳	-0.12	0.12	0.28
男性/40-49歳	-0.29	0.19	0.13
男性/50-59歳	-0.27	0.14	0.06
男性/60-69歳	-0.10	0.40	0.08
男性/70歳以上	0.16	0.49	-0.02

注) 数値が高いほどその要因を強く持っていることを示す。

ほのぼのの広場



なかよし夫婦

お互いに思いやる
温かい夫婦

端野地区・川向

桜井 勇真さん(28歳)
と 井 真佑さん(27歳)

Qお付き合いから結婚に至るまで

もともと同じ学校の同級生で、10年振りに友人の結婚式で再会し、約1年間の交際後にゴールインしました！

Qお二人の趣味は？

勇人さん…ギター
真佑さん…ランニング、お菓子作り

Qこれからしたいことは？

勇人さん…友人と朝まで飲み明かす
真佑さん…大型犬を飼って顔を埋めたい

Qお互い好きなところは？

勇人さん…料理がおいしい、頑張り屋さん
真佑さん…物を大切にしている、機嫌が変わらないところ

Qお互いへの感謝の言葉

勇人さん…くだらない話でもニコニコ聞いてくれてありがとう！
真佑さん…いつもご飯やいろいろなことを褒めてくれてありがとう！

※写真は、キカラシを背景に撮影しました。馬鈴しょ収穫作業中に真佑さんが見つけたハート形の馬鈴しょを手に記念写真。

きたみらい技能実習生



ハー ティ トウエット スオンさん(23歳)
出身地：ベトナム (ロンアン省)

- Q趣味はなんですか？
旅行をすることです。
- Q好きな日本語はなんですか？
愛という言葉が好きです。
- Q日本の好きな食べ物はなんですか？
寿司と焼肉！
- Q北見に来て大変だったことはなんですか？
一番大変だったのは、日本の方とのコミュニケーションです。
- Q日本でやってみたいことはありますか？
パン職人になってみたいです。
- Q色々な実習をしてみてどうでしたか？
こんなにたくさんの実習をしたのは初めてで、腰や足が痛いときもありましたが北見での生活はどれも素晴らしい経験になりました。

★**役立つベトナム語講座**
スオンさんの出身地であるロンアン省は、ベトナム最大の都市であるホーチミン市の南西に隣接しており、ここ数年の経済成長がめざましい地域だそうです！ロンアン省で有名な食べ物はライスペーパーで、ベトナム語では「**パインダー**」または「**パインチャン**」と教えてくれました。ライスペーパーを使った生春巻き美味しそうですね！

INFORMATION

林修先生と学ぶ みんなの食料安全保障



JAグループサポーター 林修

世界情勢の激変で、日本の「食」のリスクが拡大しています。

日本の「食」は多くのリスクを抱えています。その代表的なリスクが「食料自給率」の低迷です。日本の食料自給率は、わずか38%。食料の約6割を、輸入に頼っているのです。

リスクに直面しました。世界の食料価格の高騰に、さらに拍車がかかったのです。「食料は、安く、いくらでも輸入できる」。そんな時代は、もう過去のものになったと言っても、過言ではないでしょう。



※2021年・カロリーベース

日本の「食」と「農」を支え、未来につなぐ「国消国産」。

では、いざという時に食料が不足しないためにはどうすればよいのでしょうか。その答えを、JAグループは「国消国産」として提唱しています。

「国消国産」とは、「国」民が必要として「消」費する食料は、できるだけ、その「国」で「生」産する、ということです。

国消国産 (こくしょうこくさん) graphic with icons of food and a farm. Text: 「国」民が必要として消費する食料は、できるだけその「国」で生産する。

生産資材の高騰が続く、日本の農業は苦境に立たされています。

世界情勢の変化は今、農業の現場に、大きな問題をもたらしています。肥料、家畜の餌、燃料など農業生産に欠かせない資材価格の高騰が、経営を直撃しているのです。このままでは農業を続けることが難しいという、生産者の皆さんの深刻な声も聞こえてきます。



適正な価格で「国消国産」を進める。それが「みんなの食料安全保障」。

このままでは、農業の経営は立ち行かなくなり、日本の「食」の未来は見えてきません。生産者を支え、日本の「食」を未来につなぐために、農畜産物の適切な価格形成に向けた環境づくり、ルールづくりを模索すると共に、私たちもまた、日本の「食」と「農」を支えるために、意識を変えていくことが求められる時代になったのではないのでしょうか。できるだけ国産のものを手に取り、食べることが、私たちにできる「国消国産」の実践であり、日本の生産者を応援することにつながります。それが私たち「みんなにできる食料安全保障」と言えるでしょう。

さあ「国産」を、食べて応援!

「JAタウン」で旬の農畜産物を、今だけ送料無料で。

<https://www.ja-town.com/shop/e/ekokusho/>

期間 2022年10月13日から11月末日まで

※既定数に達した場合、早く終了することがあります。



北見市議会議員との意見交換会

外国人技能実習生は10月6日、北見市議会議員6人と意見交換会を行いました。

技能実習生として北見に来てもらうために必要な環境整備や支援などについての質問に対し、これまでの日常生活や実習の経験をもとに真剣に答えていました。



▲意見交換会に参加した北見市議会議員と技能実習生

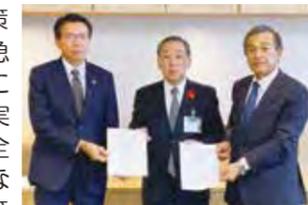
資材高騰対策について3行政へ支援要請

近年の新型コロナウイルス、ウクライナ情勢、円安の進行等により飼料や肥料、燃油といった営農に必要な不可欠な生産資材が高騰し、当JAをはじめ、北海道農業の生産基盤の維持、存続が危機的な状況に直面しています。

そのような中、当JAとしても消費者への食料安定供給の使命を果たし、食料安全保障強化の実現を図るため、生産者の営農にとって即効性のある施策を講じてもらうよう、10月に北見市、訓子府町、置戸町及び各議会に対して農業生産資材高騰対策対応に関する支援要請を行いました。

○要請内容

1. 酪農・畜産経営安定対策
飼料高騰対策をはじめ、酪農、畜産農家の経営安定に資する対策
2. 肥料価格高騰対策
肥料原料等の急激な価格高騰に対して、地域実態に応じた万全な支援水準となる影響緩和対策



▲北見市での支援要請(左から当JA齊藤専務、辻北見市長、JAところ川上組合長)

置戸地区の2組合員、酪農・畜産分野で高成績収める

布田さん「良質乳」で表彰!

置戸地区で酪農を経営する布田透さんは、「令和3年度北見管内良質乳生産者」として北見管内乳質改善協議会より表彰を受けました。

より良質な生乳の出荷を目的として、令和3年4月から令和4年3月までの1年間において、選考基準である体細胞数・生菌数の数値が低く、優秀な成績を収めた上位5名が良質乳生産者として表彰されます。

今回の表彰にあたり布田さんは「より一層乳質管理を徹底し、美味しい牛乳を消費者に提供したい」と話してくれました。



▲「良質乳」で表彰された布田さん

篠原さん「北海道枝肉共励会」で最優秀賞!

置戸地区で肉牛一貫飼育・畑作を経営する篠原正博さんは、令和4年度北海道枝肉共励会「交雑牛の部」で最優秀賞を受賞しました。

審査は帯広市の北海道畜産公社で開催。「交雑牛の部」では66頭が出品され、篠原さんの出品牛は枝肉重量566kgで格付けはA5ランクと高い評価を受け受賞となりました。

表彰にあたり篠原さんは「枝肉の全体的な格付けは良く、受賞することができて嬉しい。今後の目標は枝肉の重量を高くしていきたい」と喜びと意気込みを語ってくれました。



▲「交雑牛の部」最優秀賞を受賞した篠原さん



耕そう、大地と地域の未来。JAグループ

INFORMATION

今年度も農業用廃プラスチック回収を実施

当JAでは10月27日から28日の2日間、使用済み農業用ビニールやポリフィルム、農業用廃プラスチックを回収しました。

今年度も春と秋に行い、生産者はビニール類やポリフィルム類に分別して相内地区の小麦乾燥調製施設に持ち込みました。回収した廃プラスチックは、苫小牧のリサイクル業者に運ばれプラスチック燃料として再生利用されます。

当JAでは引き続き、環境保全の観点から生産者に適切な分別と洗浄、排出を呼び掛けていきます。



▲廃プラ回収の様子

事件に備えて模擬訓練実施

当JA上常呂支店では10月25日、北見警察署生活安全課の協力のもと銀行強盗が押し入ったという想定で防犯模擬訓練を行いました。本番さながらの訓練となり、当JA各店舗から集まった15人の職員の防犯意識向上につながりました。

また、同署の若杉里子警部補からは「通報時は、とっさの対応になり、犯人の特徴を全て伝えるのは難しいため、思い出したことがあればすぐに連絡がほしい。事前に通報の仕組みを作っておくことで、迅速な逮捕につながる」と伝えられました。

訓練を行い、金融共済部の平野部長は「直接的な強盗は減少傾向にあるがネット詐欺や振り込み詐欺が増加している。各自、万が一の際の準備や心構えをしてもらいたい」と講評しました。

訓練終了後には、防犯カラーボールによる実演も行い、インクの飛散状況を確認しました。



▲訓練に取り組む様子



▲選果ラインを見学する児童

当JAでは3年ぶりに、管内の小中学生を対象とした農業生産施設の見学を受け入れました。施設への受け入れは地域産産を学ぶ社会科総合学習の一環として行っており、今年度は受け入れを10月に限定して実施し、市内小学校6校延べ260人の児童が施設を見学しました。

10月27日には美山小学校3年生70人が、相内地区の玉ねぎ集出荷施設



▲質問の答えを熱心にメモする児童

玉ねぎ集出荷施設へようこそ！ 小学児童が施設見学

を訪問。施設では玉ねぎの選果ラインを通り、箱詰めされるまでの工程を見学しました。たくさんの玉ねぎが次々と選果ラインを流れていく様子に、児童たちは興味津々の様子でした。

見学後は質問の時間を設け、「北見の玉ねぎはどこに運んでいますか？」など、児童それぞれが関心のあることを質問し、活発な施設見学となりました。

「基本チェックリスト」について⑤

厚生労働省が作成した基本チェックリストでは、近い将来の介護リスクになるような衰えがないかを評価できます。回答欄のはい、いいえの前にある数字（0または1）の合計を得点欄に記入してみましょう。

基本チェックリスト 全25問中（16・17）

16	週に1回以上は外出していますか	0. はい	1. いいえ	点 (合計点)
17	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. はい	0. いいえ	

上記の質問の趣旨は以下の通りです。

16	週によって外出頻度が異なる場合は、過去1カ月の状態を平均して下さい。
17	昨年の外出回数と比べて、今年の外出回数が減少傾向にある場合は「はい」となります。

どちらかもしくは両方に当てはまると、機能低下の可能性が高くなります。
チェックを付けて心身の状態や介護リスクの有無を知りましょう。

こころの健康と問題焦点コーピング

ストレスの原因（ストレッサー）に対処する方法は大きく2つに分類されます。そのうちの1つが、ストレッサーに直接働きかける「問題焦点コーピング」です。



他の問題焦点コーピングの例

- 仕事が多すぎる→上司に相談して業務を調整してもらう（手助けを求める）
- 生活環境が合わない→引っ越しをする（ストレスの原因から離れる） など

問題焦点コーピングは、ストレスの原因が分かっている対処の目途が立つときに有効です。対処方法が無い場合や失敗のリスクが大きいときは、別の方法を考えます。ストレッサーの解決のためにかえってストレスを受けないように注意しましょう。

お問い合わせ：担い手グループ TEL:24-2145（榎本・辻本）

INFORMATION

第9回 理事会報告

10月27日、午前9時00分より第9回定例理事会が開催され、報告事項17件、決議事項4件が協議され、原案通り承認されました。

【報告事項】

- ①内部監査（個人情報保護・情報セキュリティ対策・東京事務所）報告について
- ②組合員状況報告について
- ③財務状況報告について
- ④コンプライアンス事故報告について
- ⑤作況調査（10月15日）報告について
- ⑥肥料価格高騰に係る支援事業（国事業・道事業）の取り組みについて
- ⑦農業生産資材高騰対応に関する支援要請（自治体及び議会）について
- ⑧R4年産馬鈴しょ・玉ねぎの選果販売状況について
- ⑨令和4年産もち米生産見込みについて
- ⑩令和2年産及び令和3年産もち米の精算について
- ⑪小麦の仕組みと情勢について
- ⑫令和4年産共計豆類仮渡金の設定について
- ⑬R3肥料年度共計精算及び各種奨励金実績について
- ⑭生乳生産状況及び個体取引価格状況について
- ⑮第3回オホーツク酪農畜産対策委員会について
- ⑯2022北海道ホルスタインナショナルショウについて
- ⑰人事の発令について

【決議事項】

- ①規程類の改正について
- ②固定資産の処分について
- ③酪農・畜産経営安定対策に係るJA独自支援対策について
- ④R5年産共計玉ねぎ・馬鈴しょ取扱要領の設定について（早出し取扱細則）

JAネットバンクを来店時にその場で新規ご登録いただくと窓口にて **サララッププレゼント!!**

JAネットバンクのメリット

- 振込手数料が窓口よりお得
- 窓口・ATMで振込する手間が省ける
- 定期貯金の口座開設・解約予約ができる

登録無料!!

ご不明な点がございましたらお気軽にご連絡ください!

農協法公布記念日にあたって

制定より75年目の11月19日



北海道農業協同組合中央会
代表理事会長 小野寺 俊幸

昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が公布され、今年で75年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自

主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、今日に至っております。

一昨年より、新型コロナウイルスという今まで経験したことのないウイルスが世界的に感染拡大し、社会・経済にも大きな影響を与えておりますが、経済活動は徐々に日常を取り戻しつつあります。

しかしながら、農業分野においては長引くコロナ禍の影響による農畜産物の消費の低迷、飼料・肥料等生産資材の高騰により農業・JAを取り巻く環境は厳しさを増しております。

思い返すと世界規模での新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、マスクの需要が急激に増加しましたが、その大部分を海外からの輸入に頼っていたことから、国内は深刻なマスク不足に陥ってしまいました。

コロナ禍において、いくつかの国が食料の輸出を制限しました。幸いにも、それらの国から日本は食料を多く輸入していな

かったため、今のところ大きな影響には至っておりませんが、何らかの問題が発生したとき、私たちの食料はどうなってしまうのか。私たちにとって大きな教訓となりました。

このことから、国民が必要とし消費する食料はできるだけその国で生産する「国産」という考え方は、消費者に知っていただきたい大切なテーマであり、1945年に国連食糧農業機関（FAO）が発足した日、さらに1981年に国連が「世界食料デー」に定めた日である10月16日を、「国産の日」として制定し、令和3年に日本記念日協会に登録しました。

今こそ、この国産の周知、さらにはJA北海道大会で確認された550万人サポーターづくりを推進するべく、JAグループ北海道が一体となって「アグリアクション北海道」と題した統一した取り組みをしっかりと実践することが必要となります。

最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることを誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。

ジェットヒーター 点検承ります!

春の使用時期に **あッ!** と使えないのは不安になると思います。

使用時期の前に点検・整備の実施で来シーズン安心して使用しませんか？
お問い合わせは、**車輛整備工場**まで!

軽トラック・軽ダンプ・軽バン
JA特別パッケージ
大好評受付中です!

お問合せ：JAきたみらい 車輛整備工場
TEL：0157-47-4820 FAX：0157-47-3411

JAグループ 小農具取りまとめ キャンペーン

組合員の皆様へ
◆取りまとめ期間◆
12/23 まで
2022

いまだけ! 期間中に下記商品購入のお客様に

ホクレンSSポイント 5,000ポイント プレゼント!!

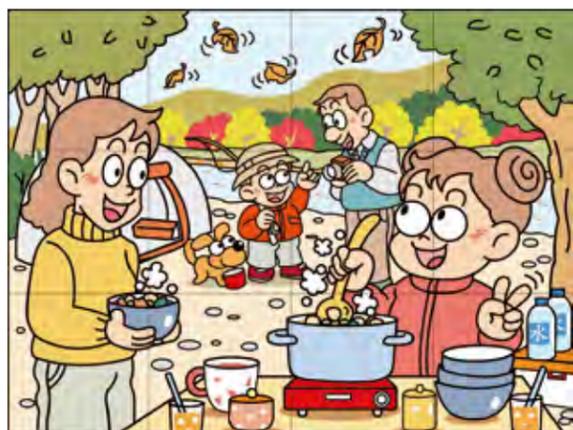
キャンペーン対象商品一覧

ジェットヒーター	エコトイレ	ペコベン	
オリオン スーパーアグリ HPD47-AGH	みのる M2	スイコー ペコベン式4面	スイコー ペコベン用連結用一式(3面)
組合員参考価格(税込) 192,500円	組合員参考価格(税込) 319,000円	組合員参考価格(税込) 132,330円	組合員参考価格(税込) 100,210円

まちがいさがし

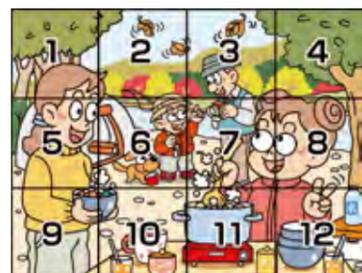
Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B

出題・イラスト：酒井栄子



応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。

抽選で6名の方に、JAきたみらいの「白花美人」2袋と「オニオンコンソメ」をプレゼント致します。

10月号まちがいさがしの当選者

10月号のまちがいさがしの答えは「1、4、7、10、12」でした。正解者28名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。 ()内は地区名

- ・戸田富美子さま(北見)・宮島和子さま(北見)
- ・浜田和美さま(訓子府)・佐々木友香さま(訓子府)
- ・石村新吉さま(置戸)・永江美貴子さま(温根湯)

以上の方々には、JAきたみらいの「大正金時と鶏肉のキーマカレー」と「玉ねぎと鶏もも肉の黒カレー」をプレゼント致します。

マ ラソン大好きな私。もう少し若くて、暇があったら、出てみたかったです。

(匿名希望)

10月16日に北見ハーフマラソンが開催されましたね。読者の皆さんの中にも出場された方はいるのでしょうか？

こ れからさむくなりますね。コロナウイルスにもかからないように、きをつけましょう。

(北見地区 安齊 龍ノ介さん)

今年の雪は少ないといいなあ…。インフルエンザの同時流行も心配されていますので、今一度手洗いうがいを徹底しましょう！

読者の声

おひさまサラダをホームページで閲覧できます！

広報誌「おひさまサラダ」を当JAのホームページで紹介しています。右側にあるQRコードから閲覧できますので、ぜひご覧下さい。



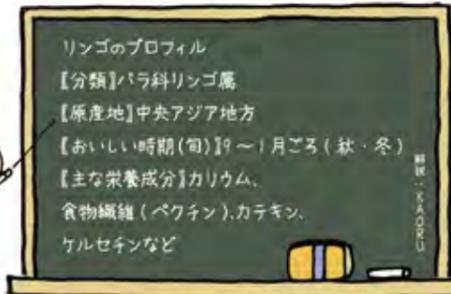
野菜ソムリエ上級プロ kAORUの

フルーツパラダイス

イラスト：小林裕美子

リンゴ

～医者いらずといわれる優れた健康効果～

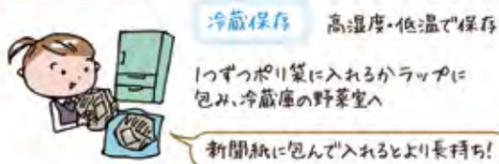


リンゴのプロフィール
 【分類】バラ科リンゴ属
 【原産地】中央アジア地方
 【おいしい時期(旬)】9～1月ごろ(秋・冬)
 【主な栄養成分】カリウム、食物繊維(ペクチン)、カテキン、ケルセチンなど

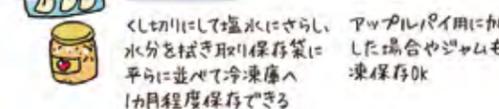
選び方



保存方法



冷凍保存



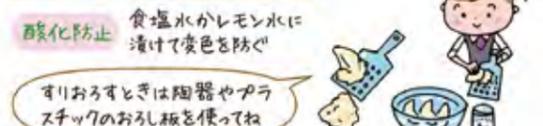
リンゴのチカラ



リンゴのいろいろ

- ふじ** 日本でも世界でも、最も多く生産されているリンゴの王様の蜜が入りやすくジューシーで、甘味と酸味のバランスが良く、シャキシャキとした食感
- つがる** 日本では「ふじ」に次ぐ生産量の果汁が多く、優しい甘さで酸味は少ない
- 紅玉** 製菓や料理用の定番の濃い紅色で大きさは小ぶりの強い酸味と爽やかな香りが特徴
- シナスイト** ジューシーで酸味が少なく甘味が強いのサクサクとした食感
- ジョナゴールド** 米国生まれの品種の甘味と酸味のバランスが良く、生食やジュースなどの加工用として人気
- 王林** 果肉はやや堅めで、果汁が豊富の酸味がほろなく、甘味と芳醇(ほうじゅん)な香りが強い
- シナゴールド** 香り豊かで果汁も豊富のしっかりした甘味の中に爽やかな酸味があり、パリパリとした食感が特徴
- ピュアリンゴ** ピンポン玉サイズのかわいい見た目の果肉はやや堅めの甘味と酸味が強く、製菓用や観賞用として人気

楽しみ方・食べ方のコツ



料理・デザートとして



おひろ



リンゴのヒストリー



おひさまクラブ COOKING
♥おいしいもの大好き!♥

いろいろキノコの炊き込みご飯



◆ 材料 (6人分) ◆

- 米450g
- ヒラタケ120g
- マイタケ80g
- ハナヒラタケ60g
- マッシュルーム4個

だし汁

- かつおだし350ml
- しょうゆ35ml
- みりん35ml
- 料理酒35ml

◆ 作り方 ◆

- ①ヒラタケ、マイタケ、ハナヒラタケはほぐし、マッシュルームはスライスしておく。だし汁の材料を鍋に入れ一煮立ちさせ冷ましておく。
- ②米をとぎ、ざるに20分あげておく。
- ③炊飯器にだし汁を入れ、②の米とキノコ類を入れ20分浸し炊き上げる。
- ④器に盛り付けて出来上がり。

秋の冷やし鉢



◆ 材料 (10人分) ◆

- サツマイモ240g
- サトイモ240g
- カボチャ120g
- ミニトマト10個
- ユズ適宜
- 塩適宜

A (だし汁ゼリー)

- かつおだし640ml
- 薄口しょうゆ80ml
- みりん80ml
- 粉ゼラチン8g

◆ 作り方 ◆

- ①サツマイモ、サトイモ、カボチャは皮をむき乱切りにして水洗いし、薄く塩を振り蒸し器で20分ほど蒸す。
- ②器に①の野菜、半分にカットしたミニトマトを彩りよく盛り込む。
- ③小鍋にAを入れ一煮立ちさせ、熱いうちに②の器に流し入れる。
- ④粗熱を取ってから冷蔵庫で冷やし、Aが固まったら出来上がり。仕上げに振りユズをかけてどうぞ。

✿ 献立を監修した人 ✿ 茨城県笠間市にある「天晴(旧キッチン晴人)」オーナーシェフ 永井 智一(ながいとまかず)

編集後記

・気温がぐっと下がり、17時になると暗くなり退勤後に外を走り回りたい私には辛い季節がやってきました。体調を崩しやすい時期ですが、バランスの良い食事と休養で元気に冬を迎えましょう！

・先日、自宅付近で幼虫を発見!! 寒そうだったので植物の近くに隠してあげましたが、次の日にはいなくなっていました…。寒さに負けず成長できるといいですね☆ (芋毛 鈴奈)



JAきたみらい概要

(令和4年10月20日現在)

- ・組合員数(正) 1,613人
- ・組合員数(准) 5,803人
- ・組合員戸数(正) 901戸
- ・貯金 116,748百万円
- ・貸出金 16,421百万円
- ・出資金 4,881百万円